

ひと・夢・まち 町長コラム

～中山町の輝かしい未来～（令和3年6月号）

番外編 vol.02

今日思いがけず、「ひまわり風呂敷倶楽部」という、町内で活動している女性5人が来庁された。彼女たちは自分たちで企画し、紅花染めとひまわり染めの風呂敷等を作る活動をしている。5年前からの活動で、今では自分たちで種から花を育て染料をつくり染めているという。町の花である「ひまわり」や日本農業遺産にも認定されている山形の花「紅花」で何か町のために活動したいと「やってみっぺ活動支援補助金」制度を活用し、スカーフをはじめ、いろいろな生地染色をほどこしている。風呂敷もその一つであるが、当日は、風呂敷の活用方法を聞き、夢が広がった。災害時の水筒にも使えるし、日本特有の色合いはこれからの生活の中でとてもファッショナブルである。

ぜひ未来の中山町にも残しておかなければならない日本文化だと、嬉しさがこみあげてきた。人が文化をつくり、そこに根差した文化は間違いなく人をつくると思う。このような町民がいる限り、この町は消滅することはないし引き継がれていく。この風呂敷以上に、彼女たちの「まちの未来」に思いを馳せる姿に感動させていただきました。

ありがとうございます。